■ 書 評（一般モニター読者）

口と歯のトラブルが、これほど全身に悪さをするとは！？

最新の研究に基づく情報には驚かされる。

本書は、口腔環境が全身に及ぼす影響について、あまり知られていない意外な内容を、わかり易く興味深く、かつ簡潔に使命感を持って紹介した、エポックメーキングな書籍といえる。

本書で紹介される知見は、いずれも老化予防や病気の予防に直結するユニークな分野であり、まさに宝の山だ。

一般読者に理解しやすい構成と内容であり、論理性を大切にしつつも、著者の、読者に納得して貰いたいとする親切な意図や人々を健康にしたいとする真摯な配慮が随所に感じられる。

好感度と興味深さに惹きつけられて一気に読破した。（６０代男性会社役員）

■ 歯科医師・歯科衛生士の患者説明活用に！

お口のトラブルとさまざまな生活習慣病との関係が、近年特に注目されています。

昨年には、歯科疾患と生活習慣病の関連についてのアンブレラレビュー（Botelho J et al. Nature Communications. 2022;13(1):761.）が、科学誌の最高峰であるネイチャーから発表され、確固たるエビデンスになっています。

歯周病と糖尿病、口腔機能低下症とフレイル、う蝕と高血糖、睡眠時無呼吸症候群と高血圧などなど、頭では理解していても、こうした複雑な関係を患者さんに解りやすく、簡単に説明するのは容易ではありません。

本書は、一般の読者向けではありますが、歯科疾患と全身の関係を解りやすく整理してお話しするのに大変役立ちます。

また来院している患者さんに知って貰うと、健康づくりのための歯科医療がより一層進むと考えています。

医学博士　武内博朗